

第16回定期総会の開催 現退で深まるシニアクラブへの理解 田中応援者獲得2倍目標など確認
通信員 森峰 茂樹

九州山口シニアクラブは10月22日・23日の両日、熊本市の植木温泉荒木観光ホテルで「第16回定期総会」を開き、九州山口の6県から総勢30名が参加した。例年の総会と異なるのは、シニアクラブ未加入の単組退職者組織からオブザーバー参加を得たことだ。

毎年行われる九州山口の現退対話会議でシニアクラブ未加入の退職者組織に総会への体験参加を求めていたがその要請に応じたのが不二サッシュユニオン九州山口の加賀委員長で今回2名の退職者を伴い、参加を頂き、今年度中に、同ユニオンの退職者の会入会を明言された。また昨年度は会員が不在だった佐賀県で現職役員の協力を得て2名の会員が誕生するなどシニアクラブに対する理解は格段に深まっている。

総会初日のグランドゴルフ大会に来賓を含めて全員が参加。好天のもと24ホールで熱戦を競った。その結果、東邦金属OBの藤田さんが65打の好コアをマークして優勝に輝いた。夕食懇親会でその表彰式を行なったが、ホテル社長がユーモア豊かに商品を授与するなど和やかに懇親会を過ごした。

翌日の総会は松井会長の挨拶後、JAM九州山口の横田委員長が「田中ひさや」予定候補者の取り組みで全国17地方をリードすると決意を語り、シニアクラブ豊泉副会長は組織拡大と参議院選挙の取り組みでは結果に繋げる活動に全力をあげていく本部方針が述べられた。

活動方針の提案では組織拡大を推進するため更に現役の協力を求めることや、介護問題の取り組み、「田中ひさや」予定候補者の応援者獲得目標を会員数の2倍とし、全力を挙げることを全会一致で確認した。また、総会で呼びかけた「自然災害支援カンパ」に2万1386円の善意が寄せられ総会を終えた。

